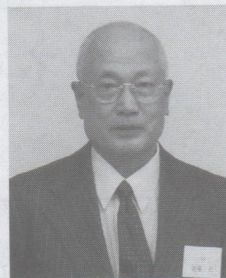


2015年度を迎えて

公益社団法人 東京都山岳連盟
会 長 佐藤 旺



2015年度の始まりに当たり一言ごあいさつ申し上げます。

先ずは、日頃の当岳連にお寄せいただいております皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

さて、2013年4月に内閣府より公益社団法人の認証をいただき、早いもので2年が経過いたしました。

この2年間を振り返れば、2013年10月の東京国体の準備と運営、そして、男女総合優勝、また、2014年6月には京橋から現在の神田須田町への事務所の移転等、都岳連の歴史に残るであろう大きなイベントがありました。

ただ、組織の現状を見ると個人会員数は680名前後で変わらず推移しているものの、加盟団体数を見ると、毎年10団体ほどが脱退し現在は210団体となっています。脱退の理由は、会員の高齢化により山の会としての活動が成り立たなくなったからが主な理由として挙げられています。

既に正会員の皆様にはご案内しておりますが、2015年は理事と監事の交代期であります。5月26日の通常総会で新役員が選任され、公益社団法人第2期がスタートしますが、こうした都岳連の現状を踏まえ公益社団法人にふさわしい運営と事業の展開を新役員には期待しております。また、新会長のリーダーシップのもと、各界、各位の声に謙虚に耳を傾け、時代の変化を的確に捉えそれに対応した都岳連のイノベーションが必要と思っております。

なお、2015年の事業計画とその裏付けとなる予算については、既に皆様のお手元に届いていることと思います。精読のうえ、2015年度の都岳連が進もうとする道をご理解いただき温かいご支援を頂ければ幸いに存じます。

最後になりますが、関係機関の皆様、加盟団体、個人会員、また、日頃温かいご厚誼を頂いております皆様に、2015年度もこれまでと変わらぬご支援をお願い申し上げます。簡単ではありますが年度始めのごあいさつとさせていただきます。